

研究課題別事後評価結果

1. 研究課題名： 人工神経回路フィードバックによる主観的時間の制御

2. 個人研究者名

林 正道（情報通信研究機構脳情報通信融合研究センター テニユアトラック研究員）

3. 事後評価結果

本研究では、「時間の流れ」を、外界の情報や生理学的指標からリアルタイムに推定し、ウェアラブル感覚刺激デバイスや脳刺激の手法を用いて制御することを目指した。これにより、その人における主観的な時間が制御できることになる。

成果としては、脳内メカニズムを明らかにすることにより、磁気刺激を用いて、時間情報の処理精度を操作できる可能性を示すことができた。また、腕時計型触覚刺激デバイスにより、主観的時間を伸展させることに成功した。

主観的時間を感知する脳領域の特定や、感覚を変化させる刺激について知見が得られた点は評価できる。また、主観的時間の認識と変調についての基礎的な理解が得られた点も特筆に値する。

今後としては、例えば感情状態との相関も含めて、より高次のメカニズム解明につなげてほしい。